

# ◆令和元年度 決算特別委員会 質問要旨◆

令和2年9・10月に開会された、令和元年度の決算委員会で質問しました。

## (1) 特別区民税の徴収猶予の申請状況について

答弁(税務課長) 9月17日現在で申請件数は525件で申請総額は2億9,682万円です。

## (2) 特別区民税の来年度以降の収入の見込みについて

答弁(税務課長) 3年間で総額180億円減収となったリーマンショック時を超える減収の可能性もあると見込んでいる。

## (3) 感染症による区民生活や区内経済に与える影響の分析や対策について

答弁(新型コロナウイルス感染症対策担当課長) 区の特性に応じた支援策を検討し、感染症による区民生活や区内経済を支える対策に積極的に取り組む。

## (4) 区民生活や区内経済にインパクトを与える施策の検討について

答弁(担当課長) 支援を必要とする人や事業者に焦点を当てた、迅速かつ効果的な施策を引き続き講じる。

## (5) 社会・経済活動を維持する上で欠かすことができない医療機関に対する支援等について

答弁(担当課長) 各機関のニーズを把握するとともに、国や東京都との役割分担も踏まえながら、検討していく。

## (6) 分野横断的な対策の企画立案について

答弁(担当課長) 特定の課題や施策の立案に当たっては、部門の垣根を超えて職員が集う検討会議を行うなど、個別具体的に政策を調整し、全庁の総合力を生かした事業展開を推進していく。

## (7) 区民の適度な体操や運動の機会を確保するための区有施設の感染拡大防止対策の取組について

答弁(担当課長) 新しい日常における区民等の運動やイベントへの参加機会を、積極的に提供していく。

## (8) 新型コロナウイルスの不活化を可能とする機器の区有施設への導入について

答弁(担当課長) 委員ご提案の機器につきましては、その性能や効果、価格など、エビデンスを含めて情報を収集していく。

## (9) 感染症の拡大防止を図るため、国や東京都、関係機関との連携強化について

答弁(担当課長) 様々な機会を捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた関係機関との連携強化に取り組んでいく。

## (10) 白金高輪駅に10年後、品川駅からの路線の新設が提言されている開通の時期について

答弁(地域交通課長) 国や東京都の動向を注視し、着工、開通時期など情報収集に努めていく。

## (11) 白金高輪駅の利用者の利便性の確保、及び、向上に向けた取組について

答弁(地域交通課長) 令和4年度から、南北線は、6両から8両編成での運行を、三田線は、一部の編成を6両から8両編成の運行をそれぞれ予定している。

## (12) 高校受験を控える中学3年生に対する学校の支援は

答弁(教育指導担当課長) 進学に対する不安や悩みに積極的に応じるなど、きめ細やかな進路指導を行うよう各学校を指導してまいります。

## (13) 高校進学を控える中学3年生に対する規範意識の確立について

答弁(教育指導担当課長) 義務教育期間に培った規範意識を核とし、さらに規範意識を高めていけるよう、中学3年生においては、特に社会の一員となることを意識した規範意識を高めることができるように指導しています。

## (14) 幼稚園や小中学校でのサーベイランスシステムの導入状況について

答弁(学務課長) 今後も感染症の兆候となる症状の発生人数が増えてきた場合には、保健所や医療機関と連携し、家庭や児童・生徒に注意喚起する等、学校での感染拡大防止に努めてまいります。

## (15) 港区奨学資金制度で貸与した奨学金の返済について

答弁(教育室長) 適切な債権管理による収入未済額の削減に努めていく。

## (16) 港区奨学資金制度の貸与条件の緩和等について

答弁(教育室長) 区の奨学金が、強い意欲を持ちながら経済的理由で大学等への修学が困難な若者を確実に支援できる制度となるよう、今後とも改善して行くべき検討課題として受け止めさせていただく。

## (17) 「港区教育ローンあっせん」を検討し事業化を要望

清原 和幸 事務所 〒108-0072 白金3-18-12  
携帯電話番号 090-5396-5858  
電話番号 03-3444-6541  
港区議会ホームページ  
<http://www.gikai.minato.tokyo.jp>

討議資料

